

科目名称:	保育実習指導B	
担当者名:	柴田 英登、中村 明成	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
保育士資格取得のためには、保育所以外の児童福祉施設や障害者施設等での実習が必修となっており、「保育実習指導B」はその「保育実習I(施設)」の事前・事後に当たる授業である。実習対象施設は児童養護系施設(乳児院、児童養護施設、母子支援施設、児童自立支援施設等)と障害系施設(児童発達支援センター、障害児入所施設、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等)である。この授業では、それぞれの施設種別について理解し、実習の目的や意義、心構えを明確に持つことで、実習に向けた学修を進めていく。		
授業の達成目標・到達目標		
①実習の対象となる施設について種別ごとに概要を理解・説明できるようにする。 ②保育士としての施設での働きや役割について理解・説明できるようにする。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)		20	60	20	100
					0

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
あり	《内容1》中村 障害者支援施設支援 員 社会福祉士 ケアマネージャー	《経験年数1》11年10か月
	《内容2》柴田 臨床心理士 公認心理師	《経験年数2》14年(臨床心理士) 5年(公認心理師)
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
幼児教育学科 学習成果との主な関連 ・聞いたこと、学んだことなどをまとめ、表現することができる (社会性) ・子どもの心身の発達や対応についての基本的な知識を持っている (専門性) ・子どもの心身の発達支援や対応についての基本的な技能を持っている (専門性)

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
施設種別についての理解	施設種別それぞれについて積極的かつ自主的に学びを進めており、理解したことを言葉で説明できる	施設種別それぞれについて授業で扱った内容を理解し、言葉で説明できる	施設種別それぞれについて、大まかな内容について理解している	施設種別について理解しようとする努力が見られない
実習についての理解	施設実習の意義を理解しており、本実習へ向けての流れも把握した上で学びを進めている	施設実習について意義や本実習までの流れについてを大まかに理解できている	施設実習についての流れを大まかに理解できている	施設実習の意義や本実習までの流れを理解できていない
授業やグループワーク等の取組姿勢	授業に対して意欲的な姿勢が意見や質問から見られ、グループワーク等においても積極的に発言している	授業を真面目に聴いており、グループワークでも時々意見を述べるなど参加できている	授業やグループワークに対して、周りに合わせた動きができている	授業がグループワーク等において、意欲的な取り組みが見られない
提出物	提出期限などの決まりをしっかり守り、内容からも積極的な取り組み姿勢を伝えることができる	提出期限を守ることができている	おおむね提出期限を守ることができている	提出期限を守ることができない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス(施設実習とは)	キャンパスガイドのカリキュラムマップを読み、「保育実習指導B」および「保育実習I(施設)」について確認しておく	20分
第2回 種別ごとの施設理解① 乳児院・児童養護施設	種別について配布資料を読み、自分でも県内施設について調べておく	30分
第3回 種別ごとの施設理解② 母子生活支援施設・児童自立支援施設	種別について配布資料を読み、自分でも県内施設について調べておく	30分
第4回 児童養護系施設についての理解	種別ごとの形態や役割の相違について復習しておく	30分
第5回 種別ごとの施設理解③ 障害児入所施設・児童発達支援センター	種別について配布資料を読み、自分でも県内施設について調べておく	30分
第6回 種別ごとの施設理解④ 障害者支援施設・障害福祉サービス事業所	種別について配布資料を読み、自分でも県内施設について調べておく	30分
第7回 障害系施設についての理解	種別ごとの形態や役割の相違について復習しておく	30分
第8回 施設についての理解度確認(小テスト)	児童養護系、障害系施設についてこれまでの授業内容を復習しておく	60分
第9回 身近な地域にある施設についての理解	自分の住む地域にはどのような施設があるのかホームページ等で調べておく	40分
第10回 実習記録の書き方①生じやすい誤字脱字	実習記録に関する配付資料を精読しておく	30分
第11回 実習記録の書き方②文章表現	実習記録に関する配布資料を精読しておく	30分
第12回 書類(身上書等)の書き方	身上書を作成する意味を調べ理解しておく	20分
第13回 感染症等について	麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎について調べておく	30分
第14回 オリエンテーション・体験学習についての理解①	実習施設について各種資料やホームページ等で調べておく	30分
第15回 オリエンテーション・体験学習についての理解②	実習施設について各種資料やホームページ等で調べておく	40分
第16回 オリエンテーション・体験学習の振り返りと共有① (グループワーク含む)	事前訪問の記録を作成し、他者に伝えるよう説明できるようにしておく	40分
第17回 オリエンテーション・体験学習の振り返りと共有② (グループによる発表)	事前訪問の記録を作成し、他者に伝えるよう説明できるようにしておく	40分
第18回 オリエンテーション・体験学習の振り返りと共有③ (グループによる発表)	事前訪問の記録を作成し、他者に伝えるよう説明できるようにしておく	40分
第19回 実習記録の書き方③身上概要と心得	配付された実習記録や記録に関する資料を精読しておく	30分
第20回 実習記録の書き方④活動内容や考察	配付された実習記録や記録に関する資料を精読しておく	30分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 実習記録の書き方⑤過去の記録例から学ぶ	過去の記録例を精読しておく	30分
第22回 実習関連提出書類の理解①	実習に必要な書類について確認しておく	20分
第23回 実習関連提出書類の理解②	実習に必要な書類について確認しておく	20分
第24回 中間まとめ	これまでの授業内容について復習しておく	60分
第25回 実習生の経験を共有する①	実習や事前訪問の内容について振り返っておく	30分
第26回 実習生の経験を共有する②	実習や事前訪問の内容について振り返っておく	30分
第27回 施設職員から学ぶ（実習講演会）	講師の働く施設やその種別について復習し、理解を深めておく	30分
第28回 施設職員から学ぶ（実習講演会）	講師の働く施設やその種別について復習し、理解を深めておく	30分
第29回 実習講演会の振り返り	実習講演会内容についてまとめておく	40分
第30回 まとめ	これまでの授業内容について復習しておく	60分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、各回に示された内容を行うことになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト20%、各種提出書類60%、グループワークを含む授業への積極的関与20%で評価する</p>		
課題に対するフィードバック		
小テストや提出書類については適宜評価とフィードバックを行う		
教科書・参考書		
<p>テキスト：「施設実習ガイド」田中和則監修 ミネルヴァ書房 授業中に該当ページを示し使用する。 「実習の手引き（施設実習編）」金城大学短期大学部</p>		
備考		
<p>幼児教育学科 学習成果との主な関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたこと、学んだことなどをまとめ、表現することができる（社会性）</li> <li>・子どもの心身の発達や対応についての基本的な知識を持っている（専門性）</li> <li>・子どもの心身の発達支援や対応についての基本的な技能を持っている（専門性）</li> </ul>		